



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月16日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル
コード番号 3593 URL <https://www.hogy.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者
配当支払開始予定日 2025年2月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
TEL 03-6229-1300

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	30,016	0.9	3,406	2.3	3,269	8.9	2,736	4.9
2024年3月期第3四半期	29,754	0.7	3,487	31.1	3,587	31.4	2,609	29.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,200百万円 (52.7%) 2024年3月期第3四半期 4,655百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	120.90	
2024年3月期第3四半期	107.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	98,618	75,329	76.4	3,493.54
2024年3月期	100,041	86,120	86.1	3,547.47

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 75,320百万円 2024年3月期 86,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	20.00	20.00	20.00	20.00	80.00
2025年3月期	20.00	20.00	20.00		
2025年3月期(予想)				20.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,850	4.5	4,690	12.5	4,800	13.1	3,310	18.0	153.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	22,535,463 株	2024年3月期	25,256,963 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	975,473 株	2024年3月期	982,821 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	22,635,124 株	2024年3月期3Q	24,266,016 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、実質GDP成長率が小幅ながら連続でプラス成長となっており、所得の堅調な増加、自然災害に備えた備蓄需要の高まりなどにより景気は穏やかな持ち直しを続けています。一方、人件費や物流コストの増加などによって物価上昇圧力が強い状態が続けば消費支出が抑制されることが懸念されるなど、先行きの不透明な状況が続いております。

当医療業界におきましても、6月に実施された診療報酬改定による医療従事者への賃上げ、働き方改革への対応による労務費の増加、医薬品・医療材料・エネルギーコストの高騰による経費の増加などにより、医療経営にとってより一層厳しい状況が続いております。

このような環境下、当第3四半期連結累計期間においては、医療安全とお客様の業務効率化、働き方改革を支援する製品の提案を積極的に展開したことなどにより、売上高が堅調に推移いたしました。特に最重要戦略製品である「プレミアムキット（プリスターキットも含む）」は当第3四半期連結累計期間におきましても売上が拡大しております。この「プレミアムキット」は、術前・術中・術後において発生するお客様の手間を効率化するとともに、手術における医療安全が確保できる高付加価値製品であり、発売以降お客様に高いご評価をいただき、売上を伸ばしている当社の主力製品です。一方、不織布製品は2023年3月期に実施した一部製品の価格改定の影響により、医療用ガウン製品の販売数量減少が継続したことなどから売上高の減少が続いております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は30,016百万円（前期比0.9%増）となりました。キット製品の売上高は19,994百万円（同3.2%増）、内「プレミアムキット（プリスターキットも含む）」の売上高は13,208百万円（同7.8%増）となりました。その内、「プレミアムキット」のみの売上高は10,170百万円（同21.8%増）となりました。

売上原価は、2023年4月より稼働いたしました新キット工場Ⅱ期の減価償却費が減少したものの、円安による輸入材料の高騰、長期滞留品などの廃棄の実施および評価の見直しが影響し、棚卸資産評価損が発生した結果、原価率は1.7%上昇し、67.0%となりました。販売費及び一般管理費は、全体的に効率的な経費の使用に努めたことから前年より減少いたしました。この結果、営業利益は3,406百万円（同2.3%減）で営業利益率は11.3%、経常利益は3,269百万円（同8.9%減）となりました。また、9月に実施いたしました保有株式の一部売却による特別利益が発生し、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,736百万円（同4.9%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,423百万円減少し、98,618百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金1,810百万円の増加、売上債権765百万円の増加、棚卸資産273百万円の減少、未収消費税等675百万円の減少等により1,687百万円増加し44,713百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、建物及び構築物の減価償却及び減損損失等による1,021百万円の減少、機械装置及び運搬具の減価償却等による2,612百万円の減少、P. T. ホギインドネシア工場増築等による建設仮勘定の2,197百万円の増加等により、1,438百万円減少し44,274百万円となりました。無形固定資産は、減価償却等による89百万円の減少により406百万円となりました。投資その他の資産は、所有する株式の一部売却及び時価評価等による投資有価証券1,380百万円の減少等により、1,583百万円減少し9,224百万円となりました。この結果、固定資産は53,904百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ9,367百万円増加し、23,288百万円となりました。流動負債は、未払消費税等780百万円の増加、未払法人税等463百万円の増加等により、1,053百万円増加し9,294百万円となりました。固定負債は、長期借入金の借入による10,000百万円の増加及び返済による1,499百万円の減少、所有する株式の一部売却及び時価評価等による繰延税金負債213百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて8,313百万円増加し13,994百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,736百万円の計上による増加、剰余金の配当による1,402百万円の減少、所有する株式の一部売却及び時価評価等によるその他有価証券評価差額金761百万円の減少がありました。また、2024年7月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,721,500株の取得及び消却を実施し、利益剰余金が10,899百万円減少しました。これらの結果、前連結会計年度末に比べて10,790百万円減少し75,329百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.1%から76.4%へ減少いたしました。

（キャッシュ・フローについて）

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより20,488百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,864百万円増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を3,832百万円、減価償却費を4,245百万円、投資有価証券売却益を1,097百万円、減損損失を529百万円計上し、売上債権の増加758百万円、棚卸資産の減少291百万円、未払消費税等の増加780百万円、法人税等の支払659百万円等がありました。これらの結果、7,702百万円の収入（前年同期は3,381百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2,684百万円、投資有価証券の売却による収入1,114百万円等がありました。これらの結果、1,357百万円の支出（前年同期は2,087百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入10,000百万円、長期借入金の返済による支出1,499百万円、自己株式の取得による支出11,622百万円、配当金の支払1,401百万円等がありました。これらの結果、4,524百万円の支出（前年同期は2,906百万円の支出）となりました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約9,800百万円の収入を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得、投資有価証券の売却等により約4,160百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借入及び返済、自己株式の取得、配当金の支払い等により約5,600百万円の支出を見込んでおります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内経済は回復基調であるものの、第二次トランプ政権において保護貿易政策を通じて米国内生産への回帰を促す動きなどが強化される場合、米国・世界経済のみならず、日本経済・企業にも影響を及ぼし、円安が是正されないことによる資源・原材料価格の高止まりといった不安定な状況が続くと想定しております。

医療業界におきましては、患者数がコロナ禍以前まで回復していない医療機関があるなど、医業収益が確保しづらくなっていることに加え、労務費やその他の経費が上昇し、厳しい経営環境となっております。

また、政府では新たな地域医療構想ビジョンが検討され、病床機能の役割見直しがさらに加速されることや、大学病院の医師の引き上げなどが行われていることなどもあり、今後も人手不足対策や医療従事者の待遇改善の必要性に迫られる厳しい経営状況におかれていくと想定しております。

こうした状況下、当社は、最重要戦略製品である「プレミアムキット」の積極的な販促活動を通じて、医療安全を確保しながら、厳しい環境で就労されているお客様の業務負担を徹底的に削減してまいります。また、深刻化する医療現場での人手不足や生産性低下、働き方改革をはじめとするお客様が抱える経営課題に対し、個々のお客様に寄り添いながら、その解決への貢献に取り組んでまいります。海外事業におきましては、シンガポールにある販売子会社のホギメディカルアジアパシフィックP.T.E. L.T.D. 及びインドネシアの販売孫会社P. T. ホギメディカルセールスインドネシアが、シンガポール及びインドネシアを中心にASEAN（東南アジア諸国連合）各国の基幹病院への製品導入を積極的に展開してまいります。

製造原価におきましては、2023年4月より稼働いたしました新キット工場Ⅱ期の投資に伴う償却費が減少することなどにより、原価率の改善を見込んでおります。引き続きコスト削減や生産性の改善など原価低減のための企業努力を継続しつつ、製造子会社であるP. T. ホギインドネシアにおいても、生産性の改善に取り組み原価低減を目指してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は、期初の計画通り以下のとおりであります。

（連結業績予想）

売 上 高	40,850百万円	（前期比 4.5%増）
営 業 利 益	4,690百万円	（前期比 12.5%増）
経 常 利 益	4,800百万円	（前期比 13.1%増）
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	3,310百万円	（前期比 18.0%増）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,419	21,229
受取手形及び売掛金	8,459	8,674
電子記録債権	4,307	4,857
商品及び製品	4,502	4,375
仕掛品	390	388
原材料及び貯蔵品	4,563	4,420
その他	1,382	767
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	43,025	44,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,534	18,513
機械装置及び運搬具（純額）	14,726	12,114
土地	9,728	9,732
建設仮勘定	1,241	3,438
その他（純額）	481	475
有形固定資産合計	45,712	44,274
無形固定資産	495	406
投資その他の資産		
投資有価証券	9,213	7,832
その他	1,602	1,564
貸倒引当金	△8	△172
投資その他の資産合計	10,807	9,224
固定資産合計	57,015	53,904
資産合計	100,041	98,618
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,834	4,655
1年内返済予定の長期借入金	1,999	1,999
未払法人税等	102	566
引当金	534	188
その他	770	1,885
流動負債合計	8,241	9,294
固定負債		
長期借入金	3,669	12,169
退職給付に係る負債	509	512
引当金	—	49
その他	1,501	1,262
固定負債合計	5,680	13,994
負債合計	13,921	23,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,294	8,294
利益剰余金	67,762	58,199
自己株式	△3,217	△3,908
株主資本合計	79,962	69,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,418	2,657
繰延ヘッジ損益	—	261
為替換算調整勘定	2,831	2,785
退職給付に係る調整累計額	△101	△92
その他の包括利益累計額合計	6,148	5,612
非支配株主持分	8	8
純資産合計	86,120	75,329
負債純資産合計	100,041	98,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	29,754	30,016
売上原価	19,423	20,119
売上総利益	10,331	9,897
販売費及び一般管理費	6,844	6,491
営業利益	3,487	3,406
営業外収益		
受取利息	181	156
受取配当金	58	70
受取賃貸料	49	72
その他	69	46
営業外収益合計	357	345
営業外費用		
支払利息	18	44
為替差損	22	13
貸倒引当金繰入額	—	161
投資事業組合運用損	141	76
自己株式取得費用	—	46
賃貸収入原価	65	71
賃借契約損失引当金繰入額	—	68
その他	8	0
営業外費用合計	256	482
経常利益	3,587	3,269
特別利益		
固定資産売却益	40	—
投資有価証券売却益	—	1,097
特別利益合計	40	1,097
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産廃棄損	10	4
減損損失	—	529
特別損失合計	10	534
税金等調整前四半期純利益	3,617	3,832
法人税等	1,019	1,095
四半期純利益	2,598	2,736
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,609	2,736

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,598	2,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	830	△761
繰延ヘッジ損益	△102	261
為替換算調整勘定	1,304	△45
退職給付に係る調整額	25	9
その他の包括利益合計	2,057	△536
四半期包括利益	4,655	2,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,666	2,200
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,617	3,832
減価償却費	4,964	4,245
受取利息及び受取配当金	△239	△227
支払利息	18	44
投資事業組合運用損益 (△は益)	141	76
為替差損益 (△は益)	47	28
有形固定資産売却損益 (△は益)	△40	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,097
減損損失	—	529
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,484	△758
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△684	291
仕入債務の増減額 (△は減少)	△333	△186
その他	△673	1,345
小計	5,334	8,124
利息及び配当金の受取額	259	282
利息の支払額	△18	△44
法人税等の支払額	△2,194	△659
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,381	7,702
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,715	△2,684
有形固定資産の売却による収入	43	3
無形固定資産の取得による支出	△111	△61
投資有価証券の取得による支出	△41	—
投資有価証券の売却による収入	—	1,114
その他	△261	269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,087	△1,357
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△1,499	△1,499
自己株式の取得による支出	△0	△11,622
配当金の支払額	△1,407	△1,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,906	△4,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	612	43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,000	1,864
現金及び現金同等物の期首残高	18,351	18,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,351	20,488

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年7月17日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において、自己株式2,721,500株の取得及び消却を実施いたしました。これらの結果、自己株式の取得により、自己株式が11,620百万円増加、自己株式の消却により、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ10,899百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が58,199百万円、自己株式が3,908百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。